



フォーラムで発表する松本委 峰中等教育学校の生徒たち

信大英語学専攻のみで開いていたフォーラムを拡大。同専攻OBが教員をしている塙尻志学館高にも参加を呼び掛け

信大人文部は、学生が同
等教育学校を訪れ、国際理
解を扱う総合学習や「外国語
部」の活動を手伝うなど交流
している。互いに発表して
刺激し合おうと、昨年まで

初フォーラム始まる

松 本

信大・秀峰・志学館 授業で交流

松本地域の中高生、大学生が海外文化や言語について発表し合う初のフォーラム「中高大で sekai を考える」が11日、松本市で2日間の日程で始まった。昨年に教育連携協定を結び、授業や部活動で交流する信大人文学部（松本市）の英語学専攻の学生と松本秀峰中等教育学校（同）の生徒を中心に、塩尻志学館高等学校（塩尻市）からも参加。初日は、信大生の指導を受けた秀峰生らが、総合学習で調べた成果を発表した。

積は米国の方が大きいのに、
売り上げは日本の方が多いの
が意外だった」などと発表し
た。同部1年の長原史枝さん
(13)は「声の大きさ、目線、
発表の進め方を信大生に学ん
だ。(昨春開校で)先輩がお
らず、目上の人と話す機会に
もなった」。

集まつた約200人を前に秀峰生は、韓国料理や米国のファストフード文化を紹介。外国語部の8人は日本語のディズニーランドを比較し、「面

生に分かってもらおるよう、事例を入れるなど工夫した」と話していた。

12日は午前10時半から、まつもと市民芸術館で塙尻志学館高生や信大生が発表する。

入場無料。